

B.2 モニタリング実績

(1) 活動量（燃料消費量、生成熱量、生産量等）

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間	
T _{PJ}	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	C	タイマー設定している点灯時間から稼働時間（変更する場合は、変更記録簿に記録）を記録する	月	別紙参照	16.75h/日(5:15～22:00) × 365日	

※1 プロジェクト計画書に記載した分類（分類A・B・Cのいずれか）とすること。

(2) 係数（単位発熱量、排出係数、エネルギー消費効率、物性値等）

モニタリング項目			モニタリング方法			モニタリング実績		備考
記号	定義	単位	分類 ※1	概要	頻度	実績値	計測対象期間 (又は計測時期)	
R _{BL}	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料を保管する	-	31.6	カタログ値×台数	
R _{PJ}	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	II	消費電力が記載されたカタログ資料を保管する	-	6.96	カタログ値×台数	
CEF _{electricity, t}	電力のCO2排出係数	tCO2/kWh	III	デフォルト値①2015年度(0年 ≤ t < 1年)	年	0.000491	デフォルト値	移行限界電源方式
				デフォルト値②2016年度(0年 ≤ t < 1年)		0.000544		
				デフォルト値③2016年度(1年 ≤ t < 2.5年)		0.000530		
				デフォルト値④2017年度(1年 ≤ t < 2.5年)		0.000520		
				デフォルト値⑤2018年度(1年 ≤ t < 2.5年)		0.000507		
				デフォルト値⑥2018年度(2.5年 ≤ t)		0.000463		
				デフォルト値⑦2019年度(2.5年 ≤ t)		0.000463		

※1 プロジェクト計画書に記載した分類（分類I・II・IIIのいずれか）とすること。

B.3 排出削減量の算定方法

B.3.1 排出削減量の評価

(1) 算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量の算定

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした活動のモニタリング結果に基づき排出削減量を算定すること。

$$ER = EM_{BL} - EM_{PJ} \quad (\text{式1})$$

記号	定義	単位	算定値
ER	算定の対象とした排出活動に基づく排出削減量	tCO2	313.4
EM_{BL}	ベースライン排出量 ※1	tCO2	412.0
EM_{PJ}	プロジェクト実施後排出量 ※2	tCO2	98.6

※1 B.3.2のベースライン排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※2 B.3.4のプロジェクト実施後排出量で算定した全ての排出量の総和を記載すること。

※3 B.3.4まで入力後、自動計算されます。

(2) 付随的な排出活動に基づく排出量の影響度による評価

注) プロジェクト計画書において「排出量を算定する。ただし、排出量のモニタリングを省略し、影響度により排出量を評価する」と選択したプロジェクト実施後の付随的な排出活動の排出量の評価を行うこと。(1)で算定した排出削減量に対して計画書で定めた影響度を乗じて算定を行うこと。

排出活動	影響度 (%) ※1	排出量 (tCO2)

※1 プロジェクト計画書で評価した影響度を記載すること。

(3) 排出削減量の評価

注) (1)で算定した排出削減量から(2)で評価した排出量を差し引くことにより、排出削減量を算定すること。

記号	定義	単位	算定値
ER	排出削減量	tCO2	313.4
	(1)で算定した排出削減量	tCO2	313.4
	(2)で評価した排出量(※1)	tCO2	0.0

※1 (2)で評価した排出量の総和を記載すること。行を追加して記載した場合には、合計の参照範囲を確認すること。

B.3.2 プロジェクト実施後排出量

注) 主要排出活動及び、付随的な排出活動のうちプロジェクト計画書において「排出量を算定する」とした排出活動について、プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、各パラメータの定義及び本報告において認証を申請する期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

(考え方) ※1 方法論006のプロジェクト実施後の照明設備の電力使用量から算定する。

$$EM_{PJ} = EL_{PJ} \times CEF_{electricity,t} \quad (式2)$$

$$EL_{PJ} = R_{PJ} \times T_{PJ} \quad (式3)$$

記号	定義	単位	実績値
EM_{PJ1}	プロジェクト実施後の主要排出量 2015年度(0年 ≤ t < 1年)	tCO2/年	1.7
EM_{PJ2}	プロジェクト実施後の主要排出量 2016年度(0年 ≤ t < 1年)		21.1
EM_{PJ3}	プロジェクト実施後の主要排出量 2016年度(1年 ≤ t < 2.5年)		1.9
EM_{PJ4}	プロジェクト実施後の主要排出量 2017年度(1年 ≤ t < 2.5年)		22.1
EM_{PJ5}	プロジェクト実施後の主要排出量 2018年度(1年 ≤ t < 2.5年)		21.5
EM_{PJ6}	プロジェクト実施後の主要排出量 2018年度(2.5年 ≤ t)		11.4
EM_{PJ7}	プロジェクト実施後の主要排出量 2019年度(2.5年 ≤ t)		18.9
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2排出係数 デフォルト値① 2015年度(0年 ≤ t < 1年)	tCO2/kWh	0.000491
	電力のCO2排出係数 デフォルト値② 2016年度(0年 ≤ t < 1年)		0.000544
	電力のCO2排出係数 デフォルト値③ 2016年度(1年 ≤ t < 2.5年)		0.000530
	電力のCO2排出係数 デフォルト値④ 2017年度(1年 ≤ t < 2.5年)		0.000520
	電力のCO2排出係数 デフォルト値⑤ 2018年度(1年 ≤ t < 2.5年)		0.000507
	電力のCO2排出係数 デフォルト値⑥ 2018年度(2.5年 ≤ t)		0.000463
	電力のCO2排出係数 デフォルト値⑦ 2019年度(2.5年 ≤ t)		0.000463
R_{PJ}	プロジェクト実施後の照明設備の消費電力	kW	別紙参照
T_{PJ}	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	別紙参照

※1 主要排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1

(式)

記号	定義	単位	算定値
$EM_{PJ,S}$	プロジェクト実施後の付随的な排出量	tCO2/年	

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

B.3.3 ベースライン排出量の考え方

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) ベースライン排出量の考え方

本プロジェクトにおけるベースライン排出量は、プロジェクト実施後の稼働時間で、プロジェクト実施後の照明設備ではなく、ベースラインの照明設備を稼働する場合に想定されるCO2排出量とする。

(2) ベースライン活動量（発電電力量、蒸気の供給量又は製品の生産量等）の算定式

$$T_{BL} = T_{PJ} \quad (\text{式4})$$

記号	定義	単位	実績値
T_{BL}	ベースラインの照明設備の稼働時間	h/年	別紙参照
T_{PJ}	プロジェクト実施後の照明設備の稼働時間	h/年	別紙参照

B.3.4 ベースライン排出量

注) プロジェクト計画書で策定した考え方及び算定方法に基づき計算を行うこと。
また、記載例に示すように各項目ごとの評価式を記載した上で、評価に用いるパラメータの説明及び報告対象期間の実績値を表中に記載すること。

(1) 主要排出活動

$$EM_{BL} = R_{BL} \times T_{BL} \times CEF_{electricity,t} \quad (\text{式5})$$

記号	定義	単位	実績値
EM_{BL1}	ベースラインの主要排出量 2015年度(0年 \leq t<1年)	tCO2/年	8.0
EM_{BL2}	ベースラインの主要排出量 2016年度(0年 \leq t<1年)		96.1
EM_{BL3}	ベースラインの主要排出量 2016年度(1年 \leq t<2.5年)		8.6
EM_{BL4}	ベースラインの主要排出量 2017年度(1年 \leq t<2.5年)		100.4
EM_{BL5}	ベースラインの主要排出量 2018年度(1年 \leq t<2.5年)		60.8
EM_{BL6}	ベースラインの主要排出量 2018年度(2.5年 \leq t)		51.9
EM_{BL7}	ベースラインの主要排出量 2019年度(2.5年 \leq t)		86.2
R_{BL}	ベースラインの照明設備の消費電力	kW	別紙参照
T_{BL}	ベースラインの照明設備の稼働時間	h/年	別紙参照
$CEF_{electricity,t}$	電力のCO2排出係数 デフォルト値① 2015年度(0年 \leq t<1年)	tCO2/kWh	0.000491
	電力のCO2排出係数 デフォルト値② 2016年度(0年 \leq t<1年)		0.000544
	電力のCO2排出係数 デフォルト値③ 2016年度(1年 \leq t<2.5年)		0.000530
	電力のCO2排出係数 デフォルト値④ 2017年度(1年 \leq t<2.5年)		0.000520
	電力のCO2排出係数 デフォルト値⑤ 2018年度(1年 \leq t<2.5年)		0.000507
	電力のCO2排出係数 デフォルト値⑥ 2018年度(2.5年 \leq t)		0.000463
	電力のCO2排出係数 デフォルト値⑦ 2019年度(2.5年 \leq t)		0.000463

(2) 付随的な排出活動

(考え方) ※1

(式)

記号	定義	単位	実績値
$EM_{BL,S}$	ベースラインの付随的な排出量	tCO2/年	

※1 付随的な排出量の算定の考え方について記載例を参考に記入すること。

B.4 省エネルギー量の算定

燃料種別 (※1)	認証を申請する期間 (2016年3月1日～2020年3月31日)							
	エネルギー使用量			熱量換算 (GJ)※2		原油換算 (Kl)※2		
	単位	ベースライン	プロジェクト実施後	ベースライン	プロジェクト実施後	ベースライン (①)	プロジェクト実施後 (②)	ベースライン－ プロジェクト実施後 (①－②)
A重油	k l							0.0
L P G	t							0.0
天然ガス	千Nm ³							0.0
L N G	t							0.0
都市ガス	千Nm ³							0.0
購入電力	k W h	821,366.7	197,020.2	8,189.0	1,964.2	211.2	50.6	160.6
							合計	160.6

※1表に記載の燃料以外を用いる場合には、行を追加して記載すること。

※2熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）施行規則第4条に規定する換算係数を使用すること。